

ときがわ山里文化研究所

NEWS

—山里文化の継承を目指しています—

NPO Tokigawa Yamazato Bunka Kenkyusho

2009年5月

ときがわ山里文化研究所 NEWS 2009.5



山村再生プラン「元気な山里づくり推進協議会」

3月実施のアンケート調査結果のご報告

目次

- 調査の概要、大野・梶平地区への認識、山里文化研究所をどう見ているか、苦情など1
- 調査結果詳細—大野・梶平にお住まいの方の結果2
- 調査結果詳細—来訪者の方の結果3
- ときがわ山里文化研究所について4

→大野・梶平地区住民の意識は？

豊かな自然環境と人情が
自慢、不安は人口減少や
高齢化、
→来訪者は自然環境、景観
に魅力、農地や山林の荒廃
を心配

調査にご協力いただきありがとうございました

今年3月に大野地区、梶平地区にお住まいの方を対象に行った調査にご協力いただき誠にありがとうございました。初めての調査でしたが、皆様から多くの回答、ご意見を寄せていただきました。心から感謝申し上げます。

さて、このNEWSは山村再生プラン「元気な山里づくり推進協議会」（事務局：NPO 法人 ときがわ山里文化研究所）が、国の補助金を受けて、企画立案した、大野・梶平地区住民対象の調査結果をまとめたものです。地域の高齢化と過疎化が進む「ときがわ町大野・梶平地区」が、これからも元気で活力のある心豊かな地域であるようにするため、皆様のお考えなどを調査いたしました。また、あわせて地元で活動するNPO ときがわ山里文化研究所の現状と今後の期待についてもお聞きしています。

■回答者数は85人(回収率70%)、男性58.8%、女性30.6%、年代(70代男性18.8%、60代男性16.5%、50代男性14.1%、70代女性10.6%ほか)でした。

■ 調査の概要

→大野・梶平地区への認識

- ・大野・梶平地区にお住まいの多くの方は、景観や豊かな自然、自然を活用したレジャー環境を誇りに思い、また、暮らしやすく、人情が厚い地域に誇りを持っています。
- ・しかし、人口の減少や高齢化に不安を感じ、交通機関や買い物が不便で生活の利便性が劣ってきていると思っています。さらに周辺の農地や山林の荒廃にも心を痛めています。
- ・今後の対策としては、地域の特性を活かしつつ前記の改善を挙げています。

→地域の方は、ときがわ山里文化研究所を、
どのようにみているか

- ・NPO ときがわ山里文化研究所(以下山里文研と略)は地元の皆さまにどのように感じられているのでしょうか。
- ・地域の方の4分の3は山里文研を知っており、特に炭焼き、森林・竹林の間伐などの屋外での作業はよく知られているようです。また、山里文研が活動を始めてから大野地区に変化が出てきたと大半の方が感じられています。特に、大野地区のお祭りなど伝統行事への参加によるお祭りの活気を感じているようです。
- ・今後の山里文研への期待は、地域の草刈や河川清掃などの環境保全、伝統行事への支援・参加、竹林などの間伐、地域の方との交流・仲立ち、畑仕事、空家・廃校の活用などが期待されています。



→ときがわ山里文化研究所への苦情

- ・地元の方々に徐々に受け入れられている山里文研ですが、苦情等も寄せられております。例えば、住民の環境をよそ者が荒らさないでほしい、マスコミで取り上げられたからといい気になるな、やってあげているという姿勢が見える、活動の意図が見えない、活動地点での駐車の問題など、批判的な声がありました。今後の活動の改善、計画等に活かしてまいりますので、よろしく願いいたします。



■ 調査結果詳細

■ 1.大野・櫛平地区にお住まいの方の回答

7	地域の産業や雇用対策の推進	27
---	---------------	----

Q4.ときがわ山里文化研究所をご存知ですか

1	知っている	74
2	知らない	20

Q5.ときがわ山里文化研究所が、大野地区でどのような活動を行っているかご存知ですか(〇はいくつでも)

1	炭焼き	62
2	森林・竹林などの間伐	52
3	お祭りなどの伝統行事への参加	51
4	休耕地での野菜やそば作り	38

Q6.ときがわ山里文化研究所が活動を始めてから、大野地区に変化は見られましたか(〇はいくつでも)

1	変化が出てきたと思う	54
2	特に変わらないと思う	30

Q7.ときがわ山里文化研究所が活動を始めてから、大野地区に見られた変化の内容は


◆お祭りへの参加

お祭りが賑やかになった。送神祭の旗が多くなった。大野神社の大祭、お祭りなどの支援。祭典の参加に変化が見える。祭に参加して雰囲気盛り上げてくれる。お祭りの人の出入が多くなった。大野の祭りが少しにぎやかになったように感じる。

◆多くの人が訪れるようになった

地域をいろいろの面でPRしてくれる。人の出入が多くなった。他地域の人が訪れるようになった。町外より人が来てくれたということ、これが何よりうれしいです。大野が活気づいてきました。NPOの皆さんに感謝しています。活気が出てきた。

変化/お祭りが賑やかに/送神祭の旗が多くなった/大野が活気づいてきた/人がいるので安心



Q1.大野・櫛平地区のよさや自慢できることは?

1	自然環境・景観、生物・生態系	62
2	暮らしやすさ、人情のよさ、助け合いの気風等	56
3	自然の中でのレジャー環境(スケート、キャンプ、川遊び等)	45
4	歴史遺産、伝統文化、お祭りなど	37
5	伝統の料理	18
6	まちづくり、環境保全など住民活動	18

*数字はポイント

→特に自慢できること

農作物、景観、伝統行事、眺めのいい堂平山、都心の近さと自然、水がきれい・清流

Q2.住んでいて、不便・不安に感じることは

1	人口の減少や少子高齢化	80
2	交通の便の悪さ・買い物の不便さ等、生活の利便性	73
3	農地や山林等の荒廃	58
4	医療施設の整備不足	42
5	地域の産業や雇用の悪化	35
6	伝統文化や祭の衰退	32
6	介護施設の整備不足	32

Q3.今後、この地区に取り入れてほしいこと、希望することは

1	人口減少や少子高齢化対策	55
2	交通の便の悪さ・買い物の不便さ等、生活の利便性の改善	52
3	農地や山林等の荒廃の防止	47
4	医療・介護施設の整備	44
5	伝統文化や祭の継承	33
6	自然環境や景観の保護	31

人が大野に多く来るようになった。

◆安全、安心

昼間人がいる安心感。住民を招いての交流。大野地区が安全に見える

◆他

NPOの活動も始まってから日がたっていないのでこれから期待している。他区の人たちとのふれあいも。まだ変化は少ないが住民の垣根が少し下がった。荒地が幾分改善された。

Q8. 今後ときがわ山里文化研究所に、どんな活動を期待しますか(〇はいくつでも)

1	地域の環境保全のための草刈り, 河川清掃	54
2	祭りなど伝統文化継承への支援	42
3	竹林や桧・杉林の間伐による環境整備	38
4	地域と都会の人や子供たちとの交流	31
5	農地の保全のための農作業支援	28
6	そば打ちや地域の伝統食の講習会実施	14

2. 来訪者の方の回答

■回答者数は136人、男性86%、女性14%、年代(60代男性63.0%、50代男性17.0、60代女性6.0ほか)、埼玉県在住者98%でした。

Q1. 大野地区へお越しになった目的は(〇はいくつでも)

1	農業・林業体験	50
2	ボランティア活動・NPO活動	47
3	地元農産物・特産品の購入	37

Q2. 大野地区の魅力はどのような点にあると思いますか(〇はいくつでも)

1	自然環境・景観、生物・生態系	89
2	まちづくり、環境保全など住民活動、その他NPO活動等	41
3	地場産業、伝統工芸	31
3	まちなみ景観、農山漁村景観等	31

5	自然の中でのレジャー環境(スケート、キャンプ、川遊び等)	28
6	歴史遺産、伝統文化、お祭等	28

Q3. 大野地区に訪れて、心配なことや不便・不安だと思えることはありますか(〇はいくつでも)

1	農地や山林等の荒廃	68
2	交通の便の悪さ・買い物の不便さ等、生活の利便性	53
3	人口の減少や少子高齢化	50
4	自然環境や景観の悪化	19
4	医療・介護施設の整備不足	19
6	観光・グルメスポットや温泉・宿泊施設の不足	18
7	伝統文化・祭りの消失	17
8	地域の特産物の不足	15

Q4. 取り入れた方が良くと思うことや、より元気にしていくために必要なことはありますか(〇はいくつでも)

1	農地や山林等の荒廃の防止	65
2	自然環境や景観の保護	50
3	農家民泊の整備	38
4	人口減少や少子高齢化対策	32
5	交通の便の悪さ・買い物の不便さ等、生活の利便性の改善	30
5	地域の特産物の充実、販売施設の整備	30
5	伝統文化・祭りの復活、継承	30
8	観光・グルメスポットや温泉・宿泊施設の充実	25
9	地域の安全・医療・介護対策の充実	17
10	地域の産業や雇用対策の充実	16

もっと元気にする方法/農地の荒廃防止/景観保護/農家民泊/少子高齢化対策/
特産物販売施設の整備
/宿泊施設の整備



■ ときがわ山里文化研究所の紹介

◆ 目標

- 1.都市市民と山村地域の多彩な交流を推進し、山間地域の活性化と参加市民の元気回復を図ります。
- 2.山里の伝承文化の保存、継承、再生し、日本人の豊かな心と呼び戻します

◆ 地域に貢献します

- 1.山間地域の多くの荒れた畑や手入れの行き届かない竹林や山林の環境整備を進めます。
 - 2.地域の衰退した祭りや伝承行事・食の再生に尽力します。
 - 3.高齢化と過疎化が進む地域を、都市市民との交流で元気にします。
 - 4.地域の特産物であった木材、竹炭、お茶、山菜、無農薬野菜・雑穀等の商品化を研究し、地域ビジネス化をすすめます。
- 活動日程、活動報告などもっと詳しい情報はホームページにも掲載しております。

<http://tokigawayamazato.web.fc2.com/>

■ 大野・柵平地区の皆さまへのお願い
休耕地、竹林や桧林の間伐、ゆずの実、草刈りなどの情報をお寄せください。



ときがわ山里文化研究所では、耕作していない畑やゆずの実等を活用する事業を実施しています。
 →休耕地や、採りきれないゆず等がありましたら、ぜひご一報ください。
 →竹林や桧・杉林の間伐整備を行って炭焼きなどに利用させていただいていますので、間伐をご希望される方はお申し出ください。
 →畑等の草刈りをボランティアで行いますので遠慮なくご相談ください。

→ご連絡は、
 NPO 法人ときがわ山里文化研究所 事務局
 ☎ 67-0406(荻野武英) 67-0132(堀口浩)
 ☎&Fax 049-285-5296(柴崎光生)
 E-mail : tokigawayamazato@yahoo.co.jp

◆ 最近の活動をご紹介します。

内容	写真
5月16日(土) ■新茶を作るー「手もみ茶」の伝統を復活するため「手もみ茶作り講習会」を実施。	
5月10日(日) ■第5回定期総会開催 新年度の事業や予算等を審議し承認しました。 *写真ー竹の間伐作業	
5月8日(金) ■県委託事業「田舎生活体験塾」 場所:さいたま市 田舎暮らし体験を紹介する講座に多くの都市市民が参加しました。*写真ーNPO 交流会	
5月3日(日) フリーマーケット出店 場所: 川越 大正夢浪漫通り 大野の窯でつくった竹炭や竹酢液を販売しました。	
4月18日(土) ■山菜を食べる(山菜採りと山菜料理作り) わらび、たらの芽、竹の子などの山菜料理を楽しみました。	
4月12日(日) ■「大野神社送神祭」に参加 小旗20本を奉納、1時間半旧道を歩いて村境まで行進しました。	

■発行: NPO 法人ときがわ山里文化研究所
 355-0366 埼玉県比企郡ときがわ町大字大野 671-1
 電話・FAX 049-285-5296 (柴崎)
 E-mail tokigawayamazato@yahoo.co.jp
 Home Page <http://tokigawayamazato.web.fc2.com/>